平成30年度

高野町文化財調査年報

2020

高野町教育委員会

例　　言

1　本書は、平成30年度における高野町教育委員会が実施した文化財関連事業をまとめたものである。

2　本書に掲載した発掘調査成果の概要は、平成30年度に現状変更許可申請、埋蔵文化財発掘の通知・届出がされたものを対象としている。そのため、一部令和元年度（平成31年度）に実施した発掘調査成果を含んでいる。

3　発掘調査は、高野町教育委員会職員（池田一城、飯野尚子、木本誠二）が行なった。

4　本書に収録した発掘調査関係の資料は、高野町教育委員会において保管している。

5　本書の執筆・編集は、高野町教育委員会の木本が行なった。

目　　次

例　　言

1　平成30年度発掘調査等の概要…… 1

2　史跡現状変更に伴う調査…… 3

3　埋蔵文化財包蔵地における調査…… 6

4　『史跡金剛峯寺境内（奥院地区）大名墓総合調査報告書Ⅰ』（高野町文化財調査報告書　第８集）の刊行について……10

抄　　録……11

1　平成30年度発掘調査等の概要

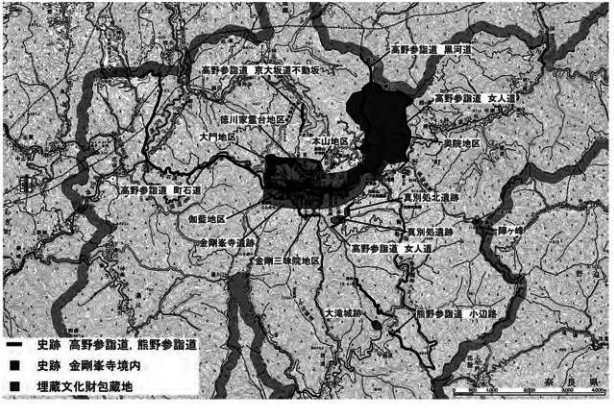
30年度に申請された史跡現状許可申請は13件、埋蔵文化財包蔵地における届出・通知は７件である。史跡では、表１のとおり工事立会８件、慎重工事が５件で　大半が金剛峯寺境内の奥院地区での墓所建設・改修である。埋蔵文化財包蔵地では、表２のとおり確認調査１件、工事立会５件、慎重工事が１件であり、全て金剛峯寺遺跡である

調査番号	史跡名	地区名	現状変更	調査期間	遺構	遺物	調査面積	取扱い
KBS18－01	高野参詣道	町石道	ケーブル添架					慎重工事
KBS18－02	金剛峯寺境内	奥院地区	危険木伐採					慎重工事
KBS18－03	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設					慎重工事
KBS18－04	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	30.06.28	無	無	4㎡	工事立会
KBS18－05	金剛峯寺境内	奥院地区	標柱設置	30.07.06	無	無	0.1㎡	工事立会
KBS18－06	高野参詣道	町石道	保護柵設置					慎重工事
KBS18－07	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設					工事立会
KBS18－08	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	31.04.03	無	無	10㎡	工事立会
KBS18－09	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設					工事立会
KBS18－10	金剛峯寺境内	奥院地区	階段改修	元.08.02	無	無	2㎡	工事立会
KBS18－11	金剛峯寺境内	大門地区	鳥居改修	31.03.14	無	無	1㎡	工事立会
KBS18－12	金剛峯寺境内	奥院地区	墓石等撤去					慎重工事
KBS18－13	金剛峯寺境内	奥院地区	墓地改修					工事立会

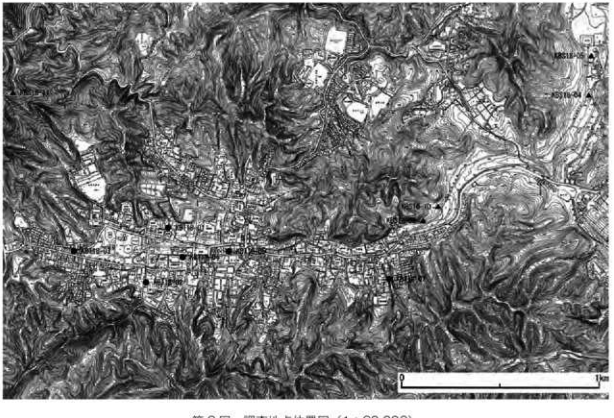
表1　平成30年度　史跡現状変更許可申請一覧表

調査番号	遺跡名	所在地	開発種別	調査期間	遺構	遺物	面積	取扱い
KBT18－01	金剛峯寺遺跡	高野山145	電気	30.05.08	無	無	0.4㎡	工事立会
KBT18－02	金剛峯寺遺跡	高野山306	その他開発	30.10.15	無	無	12㎡	工事立会
KBT18－03	金剛峯寺遺跡	高野山229－1、230	電気	30.07.23	無	無	0.3㎡	工事立会
KBT18－04	金剛峯寺遺跡	高野山347	その他開発	30.07.01	無	無	0.3㎡	工事立会
KBT18－05	金剛峯寺遺跡	高野山782	その他開発	30.10.15	無	無	2㎡	確認調査
KBT18－06	金剛峯寺遺跡	高野山299－2	その他建物					慎重工事
KBT18－07	金剛峯寺遺跡	高野山字蓮花谷58－2	その他開発	30.11.15	無	無	4㎡	工事立会

表2　平成30年度　埋蔵文化財包蔵地における届出・通知一覧表



第１図　史跡・埋蔵文化財包蔵地位置図（1：100,000）



第２図　調査地点位置図（1：20,000）

2　史跡現状変更に伴う調査

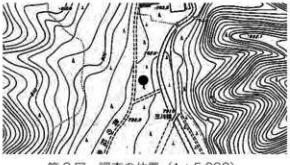
＜史跡の概要＞

高野町には、金剛峯寺境内、高野参詣道、熊野参詣道の３つの史跡がある。金剛峯寺境内は、大門地区、伽藍地区、本山地区、奥院地区、徳川家霊台地区、金剛三昧院地区という６地区により構成され、高野参詣道には、町石道、京大坂道不動坂、女人道、黒河道という複数の参詣道がある。これらのうち、今回現状変更に伴う調査を実施したのは、金剛峯寺境内の奥院地区と大門地区である。

金剛峯寺境内の奥院地区は、承和２年（835）に入定した空海の御廟のある聖地で約２kmの参道の両側には樹齢数百年の杉が林立し、数十万基ともいわれる墓石や供養塔が建ち並ぶ。金剛峯寺境内の大門地区は、一山の総門である金剛峯寺大門、その北方にある弁天岳を含んでおり、広い山林が存在する。

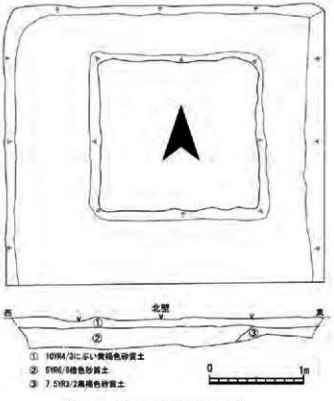
KBS 18－04

1　史　跡　名　　金剛峯寺境内
2　地　区　名　　奥院地区
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　池田一城
5　調査の期間　　平成30年６月28日
6　調 査 原 因　　墓所建設
7　調査の概要



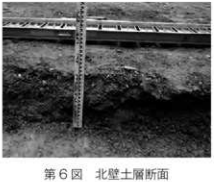
第３図　調査の位置（1：5,000）

墓所の基礎掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は攪乱等であり、遺物、遺構は確認できなかった。



第４図　平面・断面図（1：40）

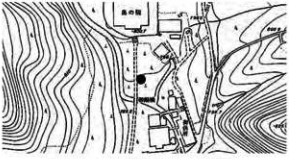
第５図　調査区全景



第６図　北壁土層断面

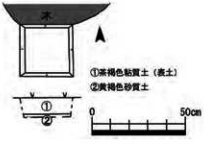
KBS 18－05

1　史　跡　名　　金剛峯寺境内
2　地　区　名　　奥院地区
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　木本誠二
5　調査の期間　　平成30年７月６日
6　調 査 原 因　　標柱設置
7　調査の概要



第７図　調査の位置（1：5,000）

標柱の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。掘削は、ほぼ表土層中に収まるものであり、遺構、遺物は確認できなかった。



第８図　平面・断面図（1：20）

第９図　調査地全景（南から）

KBS 18－08

1　史　跡　名　　金剛峯寺境内
2　地　区　名　　奥院地区
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　池田一城
5　調査の期間　　平成31年４月３日
6　調 査 原 因　　墓所建設
7　調査の概要

第10図　調査の位置（1：5,000）

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から腐食土（表土）、黒褐色小礫混じり砂質土であり、遺構、遺物は確認できなかった。

第11図　土層断面図（1：40）

第12図　調査状況

KBS 18－10

1　史　跡　名　　金剛峯寺境内
2　地　区　名　　奥院地区
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　池田一城
5　調査の期間　　令和元年８月２日
6　調 査 原 因　　階段改修
7　調査の概要

第13図　調査の位置（1：5,000）

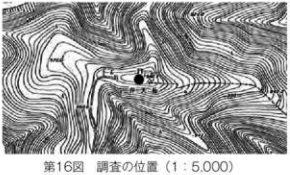
階段改修工事の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、にぶい黄褐色砂質土のみであり、遺構、遺物は確認できなかった。

第14図　平面・断面図（1：40）

第15図　調査地全景（南から）

KBS 18－11

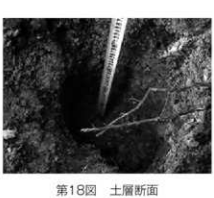
1　史　跡　名　　金剛峯寺境内
2　地　区　名　　大門地区
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　池田一城
5　調査の期間　　平成31年３月14日
6　調 査 原 因　　鳥居改修
7　調査の概要



第16図　調査の位置（1：5,000）

鳥居改修の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、表土層直下の明黄褐色砂質土のみであり、遺構、遺物は確認できなかった。

第17図　土層断面図（1：40）



第18図　土層断面

3　埋蔵文化財包蔵地における調査

＜遺跡の概要＞

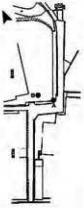
平成30年度中に調査が行なわれた遺跡は、金剛峯寺遺跡のみである。金剛峯寺遺跡は、高野山の外八葉と呼ばれる山々に囲まれた山上の盆地状平坦地のほぼ全てを包括する平安時代以降の寺院跡である。近世には1,000を超える子院が建ち並び、現在も117か寺の子院が建ち並ぶ。金剛峯寺遺跡のうち、特に重要なものについては、金剛峯寺境内として国の史跡に指定されている。

KBT 18－01

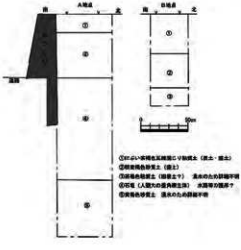
1　遺　跡　名　　金剛峯寺遺跡
2　所　在　地　　高野町高野山145
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　木本誠二
5　調査の期間　　平成30年５月８日
6　調 査 原 因　　電柱新設
7　調査の概要

第19図　調査の位置（1：5,000）

電柱及び支線の新設工事の掘削の際に立会調査を実施した。調査地は盛土により周囲の道路より約70cm高くなっており、その下層は旧表土層、もしくは水路の護岸と思われる石垣となっている。石垣は約100cmの高さがあり、その下層は、湧水のため詳細確認できていないが黄褐色砂質土となっている。今回の調査では遺物は確認できなかった。



第20図　調査区位置図



第21図　土層断面図（1：40）

第22図　Ａ地点土層断面

第23図　Ｂ地点土層断面

KBT 18－02

1　遺　跡　名　　金剛峯寺遺跡
2　所　在　地　　高野町高野山306
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　木本誠二
5　調査の期間　　平成30年10月15日
6　調 査 原 因　　植樹
7　調査の概要

第24図　調査の位置（1：5,000）

植樹の掘削の際に立会調査を実施した。掘削は約20cmで、確認した土層は、表土と盛土のみであり遺物、遺構は確認できなかった

第25図　土層断面図（1：40）

第26図　土層断面

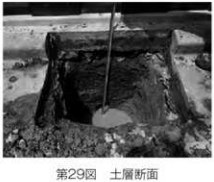
KBT 18－03

1　遺　跡　名　　金剛峯寺遺跡
2　所　在　地　　高野町高野山229－１、230
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　木本誠二
5　調査の期間　　平成30年７月23日
6　調 査 原 因　　電柱支線新設
7　調査の概要

第27図　調査の位置（1：5,000）

電柱支線新設工事の掘削の際に立会調査を実施した。確認した土層は、上からコンクリート、砕石層、にぶい暗褐色粘質土層、淡黄灰褐色粘質土層、明黄褐色粘質土層であり、遺構、遺物は確認できなかった。

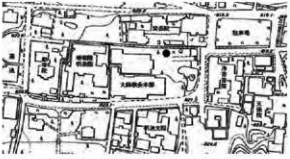
第28図　土層断面図（1：40）



第29図　土層断面

KBT 18－04

1　遺　跡　名　　金剛峯寺遺跡
2　所　在　地　　高野町高野山347
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　木本誠二
5　調査の期間　　平成30年７月１日
6　調 査 原 因　　石碑設置
7　調査の概要



第30図　調査の位置（1：5,000）

石碑設置の掘削の際に立会調査を実施した。確認した土層は、上から黒褐色砂利層（表土）、にぶい黄灰褐色砂質土層（盛土）、にぶい暗茶褐色粘質土層となっており、遺構、遺物は確認できなかった。

第31図　平面・断面図（1：40）

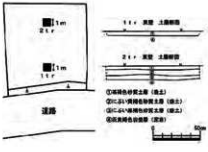
第32図　調査地全景

KBT 18－05

1　遺　跡　名　　金剛峯寺遺跡
2　所　在　地　　高野町高野山782
3　調 査 主 体　　高野町教育委員会
4　調査担当者　　木本誠二・飯野尚子
5　調査の期間　　平成30年10月15日
6　調 査 原 因　　確認調査
7　調査の概要

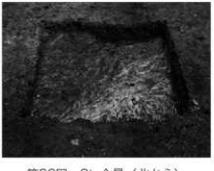
第33図　調査の位置（1：5,000）

当該地における今後の埋蔵文化財保護のため、２本のトレンチ（１m×１m）を設定し、確認調査を行った。表土及び盛土直下が地山となっており、遺構・遺物は確認できなかった。



第34図　配置図・土層断面図(1:40)

第35図　1tr全景（北から）



第36図　2tr全景（北から）

KBT 18－07

1　遺　跡　名　　金剛峯寺遺跡

2　所　在　地　　高野町高野山字蓮花谷58－２

3　調 査 主 体　　高野町教育委員会

4　調査担当者　　池田一城

5　調査の期間　　平成30年11月15日

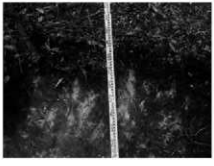
6　調 査 原 因　　仮設道設置

7　調査の概要

第37図　調査の位置（1：5,000）

仮設道設置の掘削の際に立会調査を実施した。工事地点である斜面地で最大で１ｍ程の掘削を行ったが、どの地点も、表土層直下が地山の岩盤層となっており、遺構、遺物は確認できなかった。

第38図　土層断面図（1：40）



第39図　南壁土層断面

4 『史跡金剛峯寺境内（奥院地区）大名墓総合調査報告書Ⅰ』（高野町文化財調査報告書第８集）の刊行について

＜報告書の概要＞

高野山奥之院には高野山信仰・弘法大師入定信仰に根差した多くの墓所や墓石が建立されてきた。現在でも建立や修繕が続く奥之院は、まさに「生きた史跡」としての意味を備えている。なかでも近世大名家を中心とする巨大な大名墓所が目を惹く。

これら近世大名家墓所は、奥之院だけでなく高野山の全体史に関わるものであり、長年多くの人々により調査の必要性が叫ばれてきた。しかしながら、これまで悉皆的な調査は行われず、報告書の刊行もなされないままであった。当然、墓石等は経年等による劣化・風化に晒されることになる。このまま放置しておけば、形態や銘文を性格に確認することも困難になり、結果的に調査自体が不可能になる。それは、学術的価値だけでなく高野町の重要な歴史的・文化的資源を失うということに他ならない。

平成30年度の報告書Ⅰを刊行するにあたって、200を超える大名家関連墓所とそれらの位置情報を確認することができた。この数は従来言われてきた数の約２倍にあたる。

大名家墓所は基本的には江戸、国元、高野山に建立されている。そのため、平成30年度の調査成果は全国的な拡がりが期待できるものとなった。この１冊を持って奥之院を歩けば、新しい視点、疑問などの気づきが生まれる。そして、これこそが大名墓調査委員会の期待するところでもある。

〔発　　行〕高野町教育委員会
〔発行年月〕2019年３月（平成30年度）
〔編　　集〕公益財団法人　元興寺文化財研究所
〔印　　刷〕共同精版印刷株式会社
〔高野町内における閲覧方法について〕
　　高野町教育委員会、まちかどサロン『縁』、富貴支所、高野山大学図書館
〔購入方法について〕
① 直接購入の場合：高野町教育委員会内での頒布　価格2,000円
② 郵送の場合：現金書留で頒布価格2,000円＋郵送料370円（１冊の場合）を次の高野町教育委員会まで郵送。〒648－0211　和歌山県伊都郡高野町高野山486　高野町中央公民館内　高野町教育委員会（電話0736－56－2076）。複数の場合の郵送料は高野町教育委員会まで要問い合わせ。
〔総ページ数〕150ページ

第40図 『史跡金剛峯寺境内（奥院地区）大名墓総合調査報告書Ⅰ』

報告書抄録

ふりがな	へいせい30ねんど　こうやちょうぶんかざいちょうさねんぽう
書名	平成30年度　高野町文化財調査年報
副書名	
巻次	
シリーズ名	高野町文化財調査報告
シリーズ番号	第９集
編集者名	木本誠二
編集機関	高野町教育委員会
所在地	和歌山県伊都郡高野町大字高野山486番地
発行年月日	2020年３月31日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
		市町村	遺跡番号										
金剛峯寺境内 KBS18－04	和歌山県伊都郡高野町高野山553	30344	3	34°22′01″	135°60′56″	20180628	4㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS18－05	和歌山県伊都郡高野町高野山548	30344	3	34°22′23″	135°60′58″	20180706	0.1㎡	標柱設置	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS18－08	和歌山県伊都郡高野町高野山548	30344	3	34°21′43″	135°59′63″	20190403	10㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS18－10	和歌山県伊都郡高野町高野山553	30344	3	34°21′59″	135°59′73″	20190802	2㎡	階段改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS18－11	和歌山県伊都郡高野町高野山548	30344	3	34°22′04″	135°57′29″	20190314	1㎡	鳥居改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KBＴ18－01	和歌山県伊都郡高野町高野山445	30344	4	34°21′39″	135°58′17″	20180508	0.4㎡	電柱設置	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KBＴ18－02	和歌山県伊都郡高野町高野山306	30344	4	34°21′16″	135°58′06″	20181015	12㎡	植樹	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KBＴ18－03	和歌山県伊都郡高野町高野山299－1、230	30344	4	34°21′28″	135°57′64″	20180723	0.3㎡	電柱支線設置	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KBＴ18－04	和歌山県伊都郡高野町高野山347	30344	4	34°21′26″	135°58′26″	20180701	0.3㎡	石碑設置	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KBＴ18－05	和歌山県伊都郡高野町高野山782	30344	4	34°21′29″	135°58′53″	20181015	2㎡	確認調査	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KBＴ18－07	和歌山県伊都郡高野町高野山字蓮花谷58－2	30344	4	34°21′16″	135°59′45″	20181115	4㎡	仮設道設置	社寺		なし	なし	

不許複製

（高野町文化財調査報告書　第９集）

平成30年度　高野町文化財調査年報

令和２年３月31日　発行

編集者：高 野 町 教 育 委 員 会
発行者：高 野 町 教 育 委 員 会
和歌山県伊都郡高野町大字高野山600番地
印　刷：株 式 会 社　ウ イ ン グ